



# 高校阿倍野新聞

発行所  
大阪市阿倍野区阪南町一丁目30番34号  
大阪府立阿倍野高校  
新聞部  
編集責任 小林千賀子  
発行責任 富和夫

## 充実した生活を

校長先生

中西 昭次

校長先生

皆さん入学おめでとう。数多くの希望や不安を胸に、高校生活がスタートするのです。まずは、校長先生の御言葉です。

最近読んだ本のなかで、

次のようなことが記されて

いた。諸君の参考になるか

と思うので、そのほんの一

端を紹介してみよう。

人間は、さまざまな壁に

突き当たったときそれを自

分の能力の限界だと決め

しまう弱点をもつていて

そのうえ、その壁が一見客

觀性を備えたようなりくつ

をもつて説明されると、ま

すます信じたくなつてく

る。偏差値とかIQといふ

のがそれである。そういう

基準は、どうも人間の知的

能力のすべてを測れるよう

な印象を与えるので、一般

の者は単純にその數値をと

らえて、その高低に一喜一

憂してしまうものである。

人間の知能因子というの

だいたい百二十あるといわ

れ、そのうち今のペーパー

テストの技術で測れるのは

せいぜい四十七の因子にす

ぎないそうである。残りの

七十三の因子を除外してど

れほどどの価値があるうか。

しかし一方、測ることで

きない能力の部分も、当人

が意欲的に開発しようとい

う意志を持たなければ発達

しない。特別の大天才でも

ない限り、才能がある日突

きで、目標を定め一歩

入生に一言、の順です。

出身大学④高校時代のクラ

ブ⑤趣味⑥好きな言葉⑦新

しい

した。(①教科②生年月日③

④年次⑤年月日⑥

⑦新

しい)

トの靈感といつているぐら

いである。

(今年度、新しく校長先生

に着任されました)

トの靈感といつているぐら

いである。

然發揮されるわけはない

し、その大天才といわれる

ほどの人でさえ、九十九パ

ーセントの汗と一パーセン

トの靈感といつているぐら

いである。

一步実現に努力して下さ

い。

一年生

